

業界のタイムリーな情報をお手元に

ビルメン FUKUOKA

<http://www.fukuoka-bma.jp>



2013

1

2012年度第18回 都市ビル環境の日
第5回「子ども絵画コンクール」最優秀作品



Issue 229

『動物といっしょにおそうじ』福岡市立鶴田小学校2年 三木 七菜子さんの作品

編集・発行／公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号（藤田ビル2F） TEL (092) 481-0431 FAX (092) 481-0432

新年のご挨拶



公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会
会 長

金子 誠

あるべき未来を引き寄せる公益志向力

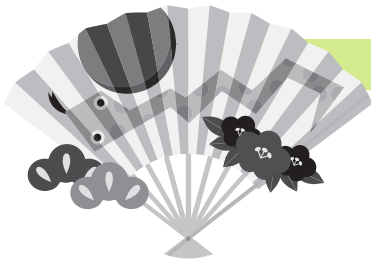
皆さま 新年明けましておめでとうございます。旧年は社会情勢はもとより自然現象に至るまで激変の年でしたが、福岡県協会は皆さまの志高いご支援を賜り創立40周年という誇らしい節目を迎えることができました。皆さまのお力添えにあらためて深謝申し上げます。

多くの地場中小企業が困難な時代を迎えています。既存ビルメンテナンスもこのまま彷徨の歩みを続ければ、気付かないうちに“崖っぷち”に立っていたということになりかねません。自律歩行が可能な間になんとか“事業再生”の道に踏み出すことを期しています。あらゆる業態は既存技術・既存マーケットのままで未来永劫存続し得ることは無いと誰もが頭では分かっているのですが、高度経済成長時代に育まれた右肩上がり事業マインド（心）はなかなか更生が難しいものようです。事業環境変化の大きな要因である人口動態ひとつとっても少子高齢化～人口減少という大きな流れは理解していても、自分の事業にどのように影響してくるのか実感が伴いません。ただ高齢化という負のイメージだけが先行します。しかしほんの30年前（高度成長期）の我が国は、欧州先進国に比して若年層の多い青少年国家であったと云えば驚かれると思います。逆に言えば世界で

も類の無いほど急激に活力人口が縮小している国なのです。その急落基盤の上に私たち地方の中小企業は拠っていることを一つの事実として覚悟しなければならないと思います。この収縮（デフレスパイラル）する事業環境にあって、ビルメンが如何にして“再生への追い風”を掴むか公益福岡県協会は先進的に取り組んでいきます。

年頭にあたりその戦略ビジョンの一つを掲げておきます。それは全国でも福岡県協会がリーダーシップをとって推進している「ビルメン省エネ事業の開拓」です。ローカルのビルクリーニング専門家には関係ないと思われるかもしれませんが、決して無関係ではありません。（東日本大震災を起点として）いま我が国はエネルギーの枯渇と温暖化問題に直面しています。その解決手段として国策のスマートシティ構想が着々と進んでいます。しかしその環境未来都市の地方モデルを創るとき必ず克服すべきリスクが生じます。そしてその最大の解決要因は、地場のヒューマンウェアに在ると確信しています。この都市再生計画機能に地場ビルメンの現場力を参画させたいと遠望しているところです。

新年もビルメンの未来を切り拓くべく精進してまいりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶



福岡県知事

小川 洋

あたらしい年の課題に全力で取り組みます

あけましておめでとうございます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の皆さまには晴れやかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日ごろから建築物における環境衛生の確保にご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、ロンドンオリンピックやパラリンピックで、本県ゆかりの選手の皆さんが大いに活躍し、県民に元気や感動を与えてくれました。

一方、7月の豪雨により、県内各地に甚大な被害が発生しました。被災された皆さまが一日も早く元の平穏な生活を取り戻せるよう、全力で取り組んでいるところです。

昨年春、「県民幸福度日本一」を目指し、福岡県発展の道筋をつけるべく、「福岡県総合計画」「行政改革大綱」という2本のレールを敷きました。今年は、これをしっかりと前へと進め、目標として掲げた施策を『着実に実行していく年』にしたいと思っております。

新しい年の課題の第一は、景気を回復させ、雇用を確保することです。現在、「グリーンアジア国際戦略総合特区」の制度を活用した設備投資が次々に始まっており、指定区域も大幅に拡大しました。関係自治体や経済界、大学と力を合わせ、特区を起爆剤として、福岡県を元気にしていきます。また、本県雇用の約8割を担い、本県経済の発展と活力の源泉である中小企業の経営安定と発展のため、経営改善

と金融の一体的、総合的な支援を行います。

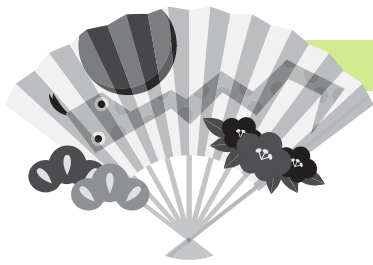
第二は、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現です。元気なお年寄りや活動的な女性がたくさんいらっしゃいます。それぞれの能力を生かす「70歳現役社会」や女性が活躍する社会の実現に努めるとともに、障害のある人もない人も互いに支え合う地域社会をつくっていきます。

第三は、県民生活の安全・安心の向上です。東日本大震災、豪雨災害の教訓を踏まえ、「減災」の考えを基本に見直した地域防災計画に基づき、地域の防災力を強化するため、市町村における自主防災組織の育成や避難計画の策定を支援します。学校などの建築物の耐震化、老朽化した公共土木施設の保全など、事前防災の観点から、より安全で災害に強い県土づくりをしっかりと進めてまいります。

凶悪な事件が後を絶ちません。暴力団対策と、飲酒運転の撲滅も待ったなしの課題です。警察、そして行政、事業者、県民が一体となって暴力団に立ち向かうとともに、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」という強い決意のもと、飲酒運転の撲滅に全力で取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、県民の健康で快適な生活環境の保持・増進を図るため、なお一層ご活躍されますことを期待いたします。

今年巳年です。蛇は、古来、金運、豊作などをもたらす縁起の良い生き物とされています。新しい年が皆さんにとって素晴らしい一年となりますよう、心からお祈りいたします。



新年のご挨拶



福岡労働局長

酒光 一章

人々が安全に安心して 働くことのできる各種施策を推進します

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会並びに
会員事業場の皆様には、平素より労働行政に多大の
御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の我が国の景気は、上半期は緩やかな
回復傾向を示しておりましたが、夏場以降、輸出、
生産が徐々に弱含み、9月以降は厳しい観測も多く聞
かれる状況となっております。

このような中、福岡労働局では、すべての働く
人々が安全に安心して働くことができるよう、今後
も各種施策を推進してまいります。

福岡県における労働災害の発生状況を見ますと、
死傷災害は平成23年に増加に転じ、24年も2年連続し
て増加することが予想されます。死亡災害について
も24年11月の時点で45人となり、平成23年の年間死
亡者数40人を上回っております。

福岡県におけるビルメンテナンス業での労働災害
発生状況につきましては、平成23年は死亡災害は発
生しませんでした。平成24年には残念ながら2階の
窓の清掃作業中に梯子が傾いて転落し1名が死亡して

おります。また、休業4日以上死傷者数については
速報値によりますと114件で前年より9件の減少とな
っております。（平成24年11月末現在）

労働災害が増加傾向に転じた要因は種々あると思
われますが、いわゆる団塊の世代の大量退職に伴っ
て、現場の安全管理を担ってきたベテラン労働者が
持っていた知識や経験が、次の世代に十分にバトン
タッチされていないために、現場の安全管理水準が
低下していることが危惧されます。

このような状況を踏まえ、リスクアセスメントや
危険予知訓練（KYT）などの取り組みを促進すると
ともに、各労働者のレベルに合った安全教育を計画的
に実施することにより現場における安全管理の水準
を図っていただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、今後とも、労働行政に対す
る一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し
上げますとともに、公益社団法人福岡県ビルメンテ
ナンス協会の益々の御発展と会員事業場の皆様の
益々の御活躍を祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。

ビルメン再起動への 会長伝言板

公益社団法人
福岡県ビルメンテナン協会
会長 金子 誠



“崖っぷち”からビルメンが再生するために まずやるべきことは・・・

本年も会員の皆さんには協会事業運営に多大のご支援協力賜りました。まことにありがとうございます。本稿は12月中旬に執筆しています。寒風の中、現場では従業員の皆さんがまだまだ奮闘されています。ビルメン従事者全員が大怪我することなくお正月を迎えられますよう心底から願っています。

本年も協会では、ビルメン従事者が誇りを持って現場業務に携われるよう種々の研修・講習を実施してきました。会員の皆さんもそれに応じて大きな育成投資をして頂きました。その地道な活動が社会に評価・認識されるよう、また会員企業の事業発展につながるよう協会は働いていかなければなりません。新しき年には、その努力の耕地にビルメン再生の芽が出てくることを期しているところです。

【まずやるべきことへの会長思案】

今冬季、全国でノロウイルス（感染性腸炎）が猛威を振るっています。昨年の3倍近い発症流行になるのではないかと警戒されています。しかも前回流行時の変種型で免疫が効かないようです。高齢者や幼児にとっては死に至る危険がある感染症です。皆さんが管理されている施設（特に病院・老健・学校・公共ホールなど）での対応状況はいかがですか？

“選ばれたビルメン会社”であれば、施設側から相談される前に自分の方から主体的に予防保全提案することが期待されます。さらに望まれることは、現場管理スタッフだけではなくビルメン会社総体（例えば総務部門）も「いま目の前にある公衆衛生危機」回避の当事者であるという協働意識（共有化）ではないでしょうか。

■ 沈黙する時限爆弾 = 猛毒性新型インフルエンザ襲来

公衆衛生におけるこの国民的危機が炸裂（パンデミック）した時、私たちビルメンテナンスは如何に闘うのか（と云う自問）。

ノロウイルスにご注意を !!



ノロウイルスは、主に冬場に多く見られる食中毒の原因ウイルスのひとつです。近年では、おう吐物の処理が適切に行われなかったことにより感染が拡大するなどの報告があり、特に今年の冬は流行の兆しがあります。

当協会のホームページ<http://www.fukuoka-bma.jp>に対応マニュアルを掲載しておりますので、是非ご活用ください。



ビルの省エネ指南書 (32)

東洋ビル管理株式会社
省エネルギー技術研究室

室長 中村 聡

照明のチューニングポイント (3)

8、ホールのハロゲンランプ

写真-3のようなホールの天井照明にはハロゲンランプが使用されていることが多い。水銀灯では直ぐに点灯しないので、ハロゲンランプやレフランプと併用することはあっても、水銀灯だけというホールはないだろう。蛍光灯が部分的に使われていることもあるが、ハロゲンランプやレフランプと併用しているはずだ。

写真-3のホールでは250Wのハロゲンランプが72灯と間接照明として蛍光灯が併用されている。ハロゲンランプの消費電力だけで250W×72灯=18kWになる。これだけあれば冬季の暖房には利用できるかもしれないが、夏季にとっては18kWの熱が大きな冷房負荷となってしまう。



写真-3 ホール天井のハロゲン球

9、ランプ交換と照度

この250Wのハロゲンランプを小さなW数に代えたら明るさはどうなるであろうか。8ヶ所の照度測定ポイントを決めて、照度を測定しながらランプ交換を行ってみた。交換するランプは150W型90Wである。

測定の結果、250W時の照度が8ヶ所の平均で154 lx、150W型90Wに交換後の照度が8ヶ所の平均で103 lx、ランプ交換後は67%の照度となった。W型数としては60%なので、照度はW型数に比例して下がるわけではないようだ。白熱電球の照度は60W×1灯よりも、20W×3灯のほうが暗いので、今回のランプ交換後の照度が250W時の60%以下に

なってもよいが、逆に67%と明るくなっているのが面白いところだ。白熱電球とは違い、ハロゲンランプは小さなW数のほうが、効率がよいのか、天井高が影響しているのかは分からないが、興味あるところである。

10、照度と消費電力

W数は250Wが90Wなので僅か36%の消費である。照度が67%で消費電力が36%ならば、かなり効率の良い省エネ対策となりそうだ。

$$90W \times 72灯 = 6,480W$$

$$18,000W - 6,480W = 11,520W = 11.52kW$$

11kWもデマンドを下げるができる。

ホールの場合は点灯時間が比較的短いので消費電力量的には金額節減効果は少ないが、電力デマンド低減と冷房負荷減少による省エネ効果が期待できる。地域冷暖房ならば冷熱のデマンド低減にも繋がるだろう。冷房負荷が減少することは暖房負荷が増加することになるのだが、人が多ければ暖房はそれほど必要ではなく、電力デマンド的には夏季の電力抑止の方が大切である。

11、照度計と視覚

暗くなつては困るのでW数を下げることはできないと思うかもしれないが、照度が67%まで下がっても、視覚的には全く気が付かないだろう。印刷物を見ても、以前と同じように字が読めるので、明るさが変わったことに誰も気が付かない。

ホールという場所はステージを明るくする必要はあるが、客席はそれほど照度を要求される場所ではない。154 lxが103 lxになってもその差が分からないのかもしれないが、これが蛍光灯では2/3の明るさになると視覚的にもはっきりと分かる。蛍光灯の色の波長と電球の波長、照度計で計測する波長と人の目が認識しやすい波長、このような色の波長との関係があるのかもしれない。

照度計で測定して暗くなっていたとしても、人の目が暗くなったと気が付かなければ、それは省エネであり、暗くなったと気付くようならばそれは電気の節約であり、省エネとはいえないだろう。

カーペットとメンテナンスの話

蘇財アドバイザー (www.sozai-a.com) 宮島 博史

カーペットにはさまざまな色があります。原料の繊維や糸が染料で染められ豪華なカーペットに織り込まれていますが、今回は染料についてお話いたします。

*

カーペットを長期にわたり使用していると日焼けにより色あせが起きます。また、アルカリ洗剤でクリーニングして色流れが発生したり、漂白剤をこぼして色抜けた等のクレーム事例をしばしば耳にする事があります。

そもそもカーペットが製造される時の基本的な染色技法は2つに大別されます。

1. 先染め

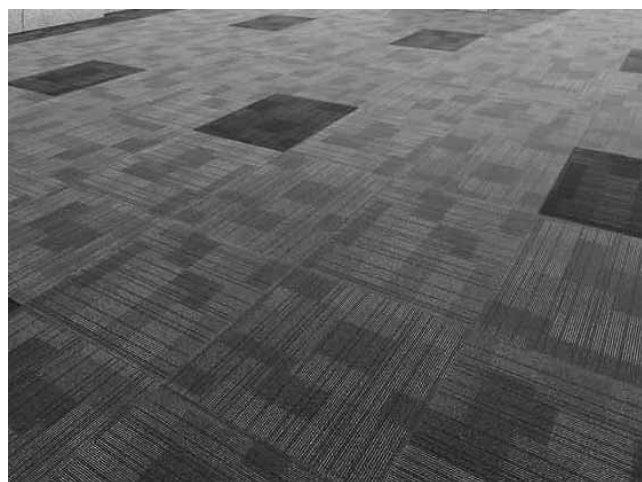
カーペット製造前に繊維または糸の段階で染める方法。

- ① **ソリューション染**：化学繊維の原料（液体ポリマー）に色を混ぜ込み、繊維を生成する時すでにその色の繊維をつくる事。（※注 原液着色）
- ② **ストック染**：長い糸に紡ぐ前の短繊維を束にして桶に漬け込み染める。
- ③ **かせ染め**：カーペットにする前に紡いだ糸の状態で染める。
- ④ **パッケージ染**：糸を脱水槽に入れ回転・加圧させながら染める。

2. 後染め

カーペット製造後に無地の状態から色や柄を付ける方法。

- ① **バット染**：無地のカーペットを熱い染料桶に浸し、ローラー等で絞りをしながら繊維の中まで染料を浸透・攪拌させる染め方。
- ② **連続染**：無地のカーペットを平らで大きな加工ラインの上に乗せ、上から染料をシャワーのように浴びせながら搬送する大量生産方式。



- ③ **捺染**：顔料や染料を捺印して模様をつけ、熱処理をしながら上から押しつけるように柄を描く、いわゆるハンド式プリント染め。
- ④ **ジェットプリント**：コンピューターでデータ化された色や柄をカーペット上にジェットノズルで染料を噴射しながら染める自動式プリント染め。

※注 原液着色 繊維自体が色で出来ているので漂白剤でも色抜けしない。略して原着またはソリューションダイと呼ばれる。

以上は工場生産されるカーペットの染色ですが、カーペットクリーニングの現場で色を修復するカラーレストレーション（再染色）技法があります。

この技法はカーペットをまったく別の色に染めかえるカラーチェンジ、色あせしたカーペットに同じ色を重ねて噴きつけ鮮やかな仕上がりにするカラークリーニング、色が抜けた所に部分的な色修正をするスポットダイイングという3つの内容に分類されます。

いずれも現場で行う時はやり直しがきかないので、まずは繊維の鑑別、次に現カーペットの汚れを取り去りPH等の下地調整を行い、染料の選別・色の調合を行うなど専門的な知識と訓練が必要となります。

1月 行事予定

4	金	協会事務局仕事始め
16	水	13:00～ 新技法による外壁洗浄研修会 於：福岡県自治会館
21	月	11:00～ 第1回役員選挙管理委員会 於：県協会会議室 14:00～ 第36回理事会 於：県協会会議室
23 ～ 26	水 ～ 土	ビルクリーニング技能検定実技直前講習会 於：ももちパレス
30 ～ 2/3	水 ～ 日	平成24年度ビルクリーニング技能検定 ■30日～2月2日：実技試験 於：ももちパレス ■2月3日：学科・実技ペーパーテスト 於：福岡国際会議場

お忘れなく 毎月10日は「災害発生報告書」提出締切日です。
毎週金曜日は知事登録業務相談窓口開設日です。

1月 各地の主な催し

【福岡地区】

- 3日 筥崎宮玉せせり（福岡市東区）
- 7日 太宰府天満宮うそかえ、鬼すべ（太宰府市）
- 8日 十日恵比寿神社正月大祭（～11日）（福岡市博多区）

【北九州地区】

- 8日 八日座祭り〔尻ふり祭〕（北九州市小倉南区）
- 10日 脇之浦はだか祭（北九州市若松区）
- 20日 火野葦平忌（北九州市若松区）

【筑豊地区】

- 1日 伊加利人形芝居（田川市）
- 1日 上臼井日吉神社のお神楽（嘉麻市）

【筑後地区】

- 7日 大善寺（玉垂宮）鬼夜（久留米市）
- 25日 白秋生誕祭、島田天満宮大祭（柳川市）

※紹介している催しは、場合によっては変更されることがあります。お出かけの際は各市町村に確認してください。

シリーズ⑮ 自転車運転のルール 安全で快適な利用のために 労働福祉委員会

ご存じですか？ 自転車レーン（自転車専用通行帯）

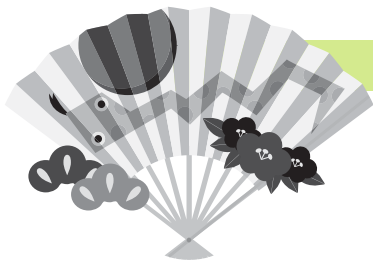


（写真は福岡市道路下水道局のホームページより）

最近、全国の警察署に対し、自転車のマナーに対する市民からの苦情が増えています。苦情の内容は、その多くが歩行者と接触しかねない危険な走行、あるいは轢き逃げ・当て逃げといった事故による被害です。もし、**被害に遭った場合は、重大事故につながりかねない危険な行為であることを運転者に自覚させるためにも、必ず事故届けを出しましょう。**

福岡市は2012年3月末から約2カ月間、JR博多駅周辺の国道（竹下通り）に社会実験として「自転車レーン」（正式名称：自転車専用通行帯）を設けました。実験区間は、同市博多区博多駅南1～2丁目の国道385号音羽交差点から宮島交差点までの750メートル。車道両側の路肩部分を幅約1.8メートルにわたって青く塗り、**車と同方向（一方通行）の自転車レーンとしました。歩行者や車、バイクは通行できず、自転車も並走や駐車は禁止。**この結果、自転車が歩道を走る割合は実験前の9割近くから5割まで減少。自転車が絡む事故もありませんでした。アンケートでも自転車利用者と歩行者の双方とも、7割以上がレーンの整備に肯定的な声を寄せたといわれます。この社会実験結果を受け、福岡市は2012年6月から本格運用に切り替えています。また、高島市長は2012年11月6日の定例会見で、新たに市内7カ所で自転車レーンの設置や側溝を改良する計画を明らかにしました。

※自転車レーン（自転車専用通行帯）のほかに、自転車専用道（自転車道）があります。自転車専用道の場合は、一方通行ではなく相互通行になるなど、利用上の大きな違いがあります。これについては、次号で詳しく紹介します。



新年のご挨拶



福岡労働局長

酒光 一章

人々が安全に安心して 働くことのできる各種施策を推進します

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会並びに
会員事業場の皆様には、平素より労働行政に多大の
御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の我が国の景気は、上半期は緩やかな
回復傾向を示しておりましたが、夏場以降、輸出、
生産が徐々に弱含み、9月以降は厳しい観測も多く聞
かれる状況となっております。

このような中、福岡労働局では、すべての働く
人々が安全に安心して働くことができるよう、今後
も各種施策を推進してまいります。

福岡県における労働災害の発生状況を見ますと、
死傷災害は平成23年に増加に転じ、24年も2年連続し
て増加することが予想されます。死亡災害について
も24年11月の時点で45人となり、平成23年の年間死
亡者数40人を上回っております。

福岡県におけるビルメンテナンス業での労働災害
発生状況につきましては、平成23年は死亡災害は発
生しませんでした。平成24年には残念ながら2階の
窓の清掃作業中に梯子が傾いて転落し1名が死亡して

おります。また、休業4日以上死傷者数については
速報値によりますと114件で前年より9件の減少とな
っております。（平成24年11月末現在）

労働災害が増加傾向に転じた要因は種々あると思
われますが、いわゆる団塊の世代の大量退職に伴っ
て、現場の安全管理を担ってきたベテラン労働者が
持っていた知識や経験が、次の世代に十分にバトン
タッチされていないために、現場の安全管理水準が
低下していることが危惧されます。

このような状況を踏まえ、リスクアセスメントや
危険予知訓練（KYT）などの取り組みを促進すると
ともに、各労働者のレベルに合った安全教育を計画的
に実施することにより現場における安全管理の水準
を図っていただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、今後とも、労働行政に対す
る一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し
上げますとともに、公益社団法人福岡県ビルメンテ
ナンス協会の益々の御発展と会員事業場の皆様の
益々の御活躍を祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。